

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

## 今秋、雲南市立病院グランドオープンしました

平成27年9月から4ヵ年にわたる工事が終了し、今年10月1日にグランドオープンしました。南側、北側に十分な駐車スペースが完備され、また駅側から正面玄関へと通りぬける道路もでき、とても利便性が高くなりました。

10月19日(土)には病院祭も開催され、市民のみなさんがたくさん来院されました。これからも私たちの地域になくてはならない開かれた中核病院として、とても期待が膨らみます。



# 気軽に利用できる新しい「住民の足」に



～スローモビルの実証実験が始まっています～

新しい移動手段として話題を集めるスローモビルの実証実験が始まっています。ゴルフカートを改装した電動車両は、免許返納者はもとより、少子高齢化の中、気軽に利用することができる移動手段として期待されています。また、大きな視野からみれば、国際的な課題である温室効果ガスの排出抑制のための一手段でもあり、政府も後押しし全国各地で実証運行が展開されつつあるようです。

爽やかな秋空がひろがった10月28日（月）、大東地区でのスローモビリティの実証運行がスター

トしました。雲南病院を発着点に約4キロの内外2つのルートには、出雲大東駅、総合センター、郵便局、銀行、スーパーマーケットがあり、25分ほどで一周します。最高時速20キロ未満となっていますが、十分な速さを感じます。また音が静かで窓もないので、道行く人との会話も楽しめます。

12月6日までの実証運行を経て、成果や課題が整理されます。もちろん大東地区の方だけでなく、町内での用務の際に、チョイノリで利用されてはいかがでしょうか。



発着点となる病院前



買い物を終えた方が、家に向かい乗車されました。



西町の大きな交差点

## 健康寿命を伸ばしましょう

地域運動指導員 藤原 陽子

運動の苦手な私が地域運動指導員になって10年が経ちました。体の仕組みや健康づくり、介護予防について知識のなかった私を研究所うんなんの講習を受けながら育てていただきました。

地域運動指導員は、体を動かすことの「楽しさ」と「大切さ」を地域の方に伝えていく運動普及ボランティアです。これまでに157名が誕生し、現在大東町で23名、そのうち7名が大東地

区で活動しています。主な活動は、市の健康づくり、介護予防事業に協力しての運動指導があります。地域でのいきいきサロンや地域自主組織、自治会などで体操・運動あそびを紹介しています。希望がありましたらいつでも地域運動指導員に声をかけてください。仲間が集って一緒に体を動かすのはとても楽しいものです。

サロンに参加させていただくと、地域の方から貴重なお話を聞くことができます。また、先日は保育園児さんを対象とした体力、運動測定のお手伝いをし、元気をいっぱいもらいました。指導員をしてよかったのは、地域のいろいろな年代の方との交流ができることです。

人生100年時代といわれています。雲南市では筋力をつける「うんなん幸雲体操」ケーブルテレビで放映中の「まめなかね体操」があります。今より10分多く体を動かして健康寿命を伸ばしましょう。



# 私の健康法

北町 渡部 順(79歳)



私は70歳前から、早朝目が覚めると布団の上で仰向けになったまま、下記の体操をずっと続けています。そして、6時半からのラジオ体操も毎日続けています。

こうした体操を続けているからか分かりませんが、丸子山にある畑へ行くのに文化センター側からの50段はある石段も、鍬を担いで休みなく一気に上がれます。

腹、胸、腰、脚、足裏、手の指、腹筋、耳等

の体操をする  
と、朝、体が  
温かくなりま  
す。健康づく  
りの一つとし  
てやってみられてはどうでしょうか。(仰向け  
になったままで1、2、3……の体操を順次実  
行。回数や時間は各自の体調に合わせて実  
行。)

1. 右の胸を左手の平で右側から撫でる。次に左の胸を・・・(100回ずつ)
2. 力を入れてお尻の穴を締め(10秒間)、そしてぱっと開く(10回)
3. 左足のカガトを先に伸ばす。と同時に、手で腰を伸ばす。次に右足を・・・(10秒)(5回ずつ)
4. 右足を少し曲げて左足を乗せ、足の裏を右手の親指で小指の方から斜めに押す。次に左足を・・・
5. 両足を5~10センチ位上げて、両手を伸ばし肩を上げる(25秒)
6. 大の字になる。そして、右足を上げ左側に倒す。次に左足を・・・

※これは一部です。興味のある方は、渡部までご連絡ください。(TEL:43-2657)



## パネリ掲示板



9/21 大東地区女性振興会お出かけ研修  
「乗って守ろう木次線!」



10/6 第73回大東地区民体育大会  
光チームが2年連続総合優勝



10/8 明寿会歌謡教室20周年記念コンサート  
楽しみながら健康づくりや生きがい  
づくりに取り組んでいます



10/27 昌子源カップサッカー大会  
最優秀選手賞に大東小6年光谷美貴也君

# まなびの泉

## 大東の教育クイズコーナー

大東中学校区教育支援コーディネーター 常盤 千明

大東で取り組んでいる教育についてクイズです！全問正解できるか、挑戦してみてください！

- ①今年、大東中学校区の小中で新しい取組を始めました。さあ、何でしょう？
- A キャリアパスポート       B 小中合同運動会  
 C 小中合同やきいも大会
- ②今年、大東中学校区に学校運営協議会が設置されました。この協議会が置かれた学校を何と呼ぶ？
- A スーパースクール       B コミュニティスクール  
 C ドライビングスクール



では、正解について解説していきます！

クイズ①の正解は…Aの「キャリアパスポート」（略して『キャリパス』）です！キャリパスは、子ども達が自分の“学び”を記録し蓄積する教材です。各学年で沢山のことを学ぶのに、月日が過ぎるとその学びをどんどん忘れていってしまう…しかし、このキャリパスがあれば、各学年で学んだ大切なことを記録しておくことができ、学び



第1回学校運営協議会の様子



『夢』発見ファイル(キャリアパスポート)

のつながりを大切にすることができます。

クイズ②の正解は…Bの「コミュニティスクール」です！雲南市では、地域と一緒に子ども達を育む「地域とともにある学校づくり」を目指し、今年度大東中学校区にも学校運営協議会を設置しました。地域の代表10名、PTAの代表11名、学校の代表12名が委員となり、大東の教育について皆で協議しています。7月に開催された第1回目では、大東中学校区でめざす子ども像について話し合い、「自分と人と地域を愛し、挑戦し続ける大東の子ども」に決まりました！今後、このめざす子ども像に向けて、地域・家庭・学校で協働し、どのような取組ができるのか話し合っていく予定です。

今回は、クイズで大東の教育活動について紹介しました。これからも地域・家庭・学校のみなさんと一緒に大東の教育を盛りあげていきたいです。

## 全国からの お便り



## 船頭の城麻呂です。

松江市 古瀬 幸保（新庄西出身）

私は昭和23年大東町新庄に生まれ、大東高校卒業後、ホテルマンの仕事に就きました。定年後の現在は、松江堀川遊覧船の船頭として働いて22年目になります。きみまる風な歌とお笑いを提供するユニークな船頭としてフジテレビの番組「ノンストップ！」で仁科亜希子さんと共に、また、BS11の「日本ほのほの散歩」で富永美紀さんと共にそれぞれ出演する機会に恵まれました。

現在も船頭のかたわら、老人ホームやデイサービス、地区のお祭りイベントに出演させていただいたり、歌謡クラブの一員として県民会館の歌謡ショーやディナーショー、また、プロ歌手の前座で歌わせていただいたりしています。

私は、漫談や歌で人を楽しませることが大好きです。ご連絡いただければどこにでも駆けつけます。



にがおえて  
こんにちは!

## 雑感 『AI(人工知能)時代』

大東小学校 校長 村尾 隆晃



(絵:大東町東町北 細田 滋)

今から2年ほど前に雲南市教育委員会社会教育課からのお誘いを受けて山口市に地域連携教育研修会に出かけました。その会の講演講師はコミュニティーデザイナーの山崎亮という方で、東京書籍の6年生国語の教科書に「まちの幸福論」という執筆が載るほどの人でした。演題は「みんなでつくる“地域の未来”」100分間の講演でしたが、あまりに面白く、あっという間に終わりました。中でもその冒頭でのAI(人工知能)時代到来についての話(ここ2年の間に、このての話はいろんなところで見聞きされることも多くなったと思いますが…)は、たいへん興味深かったので、その一部を紹介します。



山崎 亮さん

AIは我々人間が想像もできない天文学的スピードで日々今この瞬間も学びを深めている。プロ棋士には絶対に勝てないと言われていた将棋も囲碁も過去のプロの対局とそれを全てインプットしたAI同士の数え切れないほどの対局によってプロ以上に進化している。およそ世界にある全ての言語(方言を含めた)について、ユーモアの表現や反応にいたるまで音声だけでは、相手が人間なのかAIなのか峻別できないレベルまで既に到達している。そうなってくると近い将来、外国語を知らなくても全てAIが翻訳したり、即時通訳したりするようになる。これから20年以内にはAI登載の自動運転自動車が出現する。そうすると交通事故というものは皆無となり、運転免許がいらなくなる。また自動車保険というものがなくなる。さらに持ち主が用事をしている間は、リースにして必要としている人のタクシー代わりとなって働き、料金をもらうシステムにすれば高い駐車料金を払うどころか儲けとなる。このようなAIの台頭により、価値の判断基準も大きく変わる。例えば、高校の評価軸が在京の高偏差値の有名大学に何%合格させたかではなくなる。学力というものの判断基準が、人間力(社会的に自立(律)した「生きる力」)を大きく反映したものとなってくる。

等々、何か少し怖くなるようなお話でした。子どもたちが生きる未来は「人間がやるべき仕事とは何か」を高い視点と広い視野からしっかりと見据え、AI出現によって新たにできるであろう人間にしかできない仕事を創造する力と周りに認められる人間的豊かさと自主・自立(律)力が求められるのだと思いました。そのような力は自分の幸せばかりを考えていても身につくことはなく、「地域のみみんなが幸せになるためには…どんな言い方でどう提案し、行動すべきか?」をいつも考える人間力を磨いていくことで身につくと考えます。そのために、まずは子どもたちを取り巻く周りの大人が我が子と同じように地域の子も大切に思える「愛」、我が子と同じように地域の子も叱れる「愛」をもてるか否かが肝要と考えますがいかがでしょうか?(1993年から放送された「ひとつ屋根の下」のあんちゃんの名台詞『そこに「愛」はあるのかい?』を思い出しながら…)



ご寄付に感謝致します

- ・大東町(新庄南)水戸 勝春 様(高校寄宿生に玄米)
- ・大東町(上町)深ヶ迫幸雄 様(香典返し)
- ・大東町(大木原)小山 繁樹 様(香典返し)

事務局 TEL.43-2130

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

### ■令和元年10月末現在の人口・世帯数

【( )内は対前々月比】

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	37,841人 (▲65人)	12,077人 (▲27人)	3,521人 (0人)
男性	18,254人 (▲42人)	5,886人 (▲19人)	1,690人 (1人)
女性	19,587人 (▲23人)	6,191人 (▲8人)	1,831人 (▲1人)
世帯数	13,756世帯 (6世帯)	4,174世帯 (2世帯)	1,251世帯 (6世帯)
高齢化率	38.79% (+0.06%)	38.61% (+0.03%)	—

資料:雲南市HPより

## 郷土の暮らしと文化

## 「丸子山の忠霊塔」

大東の歴史をたずねる会 宮澤 明久

明治42年7月2日に大東丸子山山頂で大原郡尚武会によって「大原郡忠魂碑除幕式及招魂祭」が行われました。

当時の写真からは盛大に催された様子が写真から伺えます。参進する十数名の神官のほか、おびただしい数の参加者が丸子山頂上部の周囲を囲んで参列している様子が伺えます。写真は、神田町で写真館を営まれていた山根写真館により撮影されたものです。

しかし、太平洋戦争の末期には金属類供出により台座を残すのみとなっていました。

戦後、昭和27年に講和条約が結ばれ「戦傷病者・戦没者遺族等援護法」が成立すると、戦没者遺族会や旧軍人会が中心となって浄財を集めて忠霊塔が再建立され、昭和28年10月社会福祉協議会により新たな忠霊塔除幕式と合同慰霊祭が行われることになりました。この際の台上の「平和の女神」は吉田町出身の日本彫刻界の巨匠内藤伸氏の指導のもと

大東町出身の彫刻家清水源可さんの制作によるものです。その後、平成24年には大東町戦没者遺族会により「大東町忠霊塔、平和の女神建立経過と平和の誓い」の説明が設置され、同27年には「照」・「魂」の一对の灯籠も建立されています。



大東のなつかしい風景や人々の生活を写した写真がありましたらご提供ください。(編集委員会)



**藤原 秀紀さん**  
(グランデ大東在住)



若いときからの消防団員経験が長く、今では大東分団副分団長として地域の防火・防災活動に日夜努め、「安全安心な町であって欲しい。」と願いを込めて話す藤原秀紀さん。今回はその他いろいろな活動を通して地域を盛り上げ、元気にしたいとの思いを取材しました。

**Q 雲南市商工会青年部大東支部長としてご活躍中ですが「まちおこし」等活動の内容を聞かせて下さい。**

大東町の将来を担う商工会青年部26名の取りまとめ役として1ヶ月に1回全員協議会を開催し、情報交換やまちおこし、まちの活性化について話し合っています。具体的には3大事業として毎年、4月の桜祭り、8月の七夕祭り、10月の大東よいとこ祭りに参加し、まちおこしの一翼を担うことにしています。今後は冬の事業も考えて見たいですね。

**Q 松江シティFCユース受入れについて積極的に関わられていますが、ひとこと…**

今年の春ごろ、雲南市が松江シティFCユース受入れを表明したことから、青年部大東支部として何とでも地元大東に誘致して欲しいと署名運動を行い、約2,400名の方の署名簿を「要望書」に添えて速水市長、景山教育長に提出しました。その後も、数回にわたり「松江シティFCユース受入れ検討会」に出席し、今後取り組む予定であるのぼり、旗、ステッカー等の販売、支援者・後援者の勧誘等の活動に協力していくことを誓いました。

**Q 仕事に対する思いを聞かせてください。**

16歳の時大工職人として弟子入り、22歳で「建築藤原」を設立し独立、当初軽四のバンに道具等一切を積み込み、淡路島～大坂～静岡と周り修行させて頂きました。その間全国各地からの友人と出会い、その中で色々教わり、今の自分の基礎が出来たと思います。

時代も変わり、大工職人の後継者が少なくなり、どうすれば魅力ある職業として捉えてもらえるか試行錯誤中です。今は工務店の下請けが多いですが、依頼された仕事が完成し喜んで頂くことが生き甲斐ですね。

地元大東での大きなイベントには必ず商工会青年部大東支部の皆さんの姿があり、元気な掛け声と笑顔を提供してくれます。その中心にはいつも明るい笑顔の藤原さんの姿があります。益々の活躍を祈りたいですね。